

## 2009 年度 京大サロントーク

- 第 57 回 「幸島の野生ニホンザル」
- 第 56 回 「アジア稲作圏」 - もう一つの東アジア共同体
- 第 55 回 「神と仏の精神史」
- 第 54 回 「「別荘」から見た近代日本政治」
- 第 53 回 「未知の植物を求めて - 新種発見のものがたり」
- 第 52 回 「動物園での研究と教育」
- 第 51 回 「生存学と太陽系文明の礎 - 宇宙太陽発電所 - 」
- 第 50 回 「原子核の世界の探検 - ミクロな世界へ Go! - 」

※京大サロントークは、すべて以下の条件で開催しています

- <時間> 18 時 00 分から 19 時 30 分
- <会場> 百周年時計台記念館 1 階 京都大学サロン
- <対象> 本学の教職員および学生
- <定員> 45 名（先着順）（定員になり次第締め切ります。）
- <参加費> 飲みもの代として入場の際、500 円を頂きます。
- <申込> H P からの事前申し込み

### 第 57 回 京大サロントーク -平成 22 年 2 月 2 日（火曜日）開催



日本の霊長類学は 1948 年に幸島でスタートした。以来、60 年以上にわたって幸島でのニホンザル研究は継続されてきた。幸島のサルを有名にしたのは「イモ洗い行動」であろう。「文化」として位置づけられたこの行動は世界に衝撃を与えた。幸島の歴史を振り返り、今後の展望について考える。

第56回 京大サロントーク -平成21年12月8日(火曜日)開催



人やモノ、カネ、情報の流通を促進する「東アジア共同体構想」が提唱されているが、真の共同体を模索するなら忘れてはならないものがあるのではないかと。稲作およびそれにまつわる文化である。「アジア稲作圏」という考えを紹介して、農と食の将来を地域研究の立場から展望する。

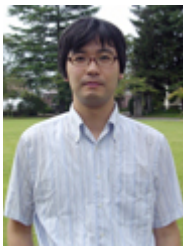
第55回 京大サロントーク -平成21年11月10日(火曜日)開催



近著「神と仏の出逢う国」(角川選書)で、(1) 神は在るモノ/仏は成る者、(2) 神は来るモノ/仏は往く者、(3) 神は立つモノ/仏は座る者、という神と仏の原理的違いについて指摘した。そんな神と仏の違いがなぜ神仏習合文化を生んでいったのか、神仏関係の歴史と思想を解き明かしてみたい。吉田神社の不思議な建造物「大元宮」の謎と思想も。



## 第 54 回 京大サロントーク -平成 21 年 10 月 13 日 (火曜日) 開催



近代日本の政治家にとって、「別荘」は、単なる贅沢や静養の場ではなかった。そこは、ある時には政治家が集って、国家の重要政策を決定する場であり、また ある時には、政治家が孤独に自己と向き合って、将来への戦略を練り、著作を書き上げる場であった。別荘の立地、建築や利用の仕方には政治家の個性がよく表れており、別荘はいわばその政治家を映し出す「鏡」のようなものでもある。本講演では、近代日本を代表する政治家である大久保利通、原敬、西園寺公望の別荘を取り上げ、その政治的、社会的意義について考察してみたい。

## 第 53 回 京大サロントーク -平成 21 年 9 月 8 日 (火曜日) 開催



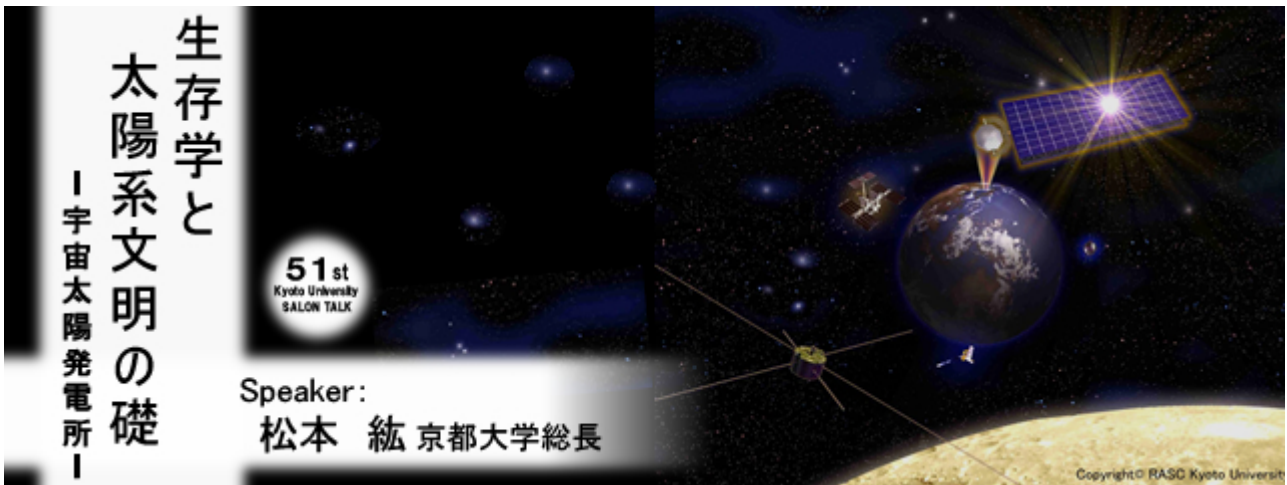
この地球上にどれだけの種類の生物が存在しているのか、21 世紀になった今もまだよくわかっていません。新しい生物に名前をつけ、知識体系の中に位置づけ組み込む作業を続けているのが分類学者です。私に関わった植物の新種発見と発表の過程を例に、分類学者の世界を紹介します。

第 52 回 京大サロントーク -平成 21 年 7 月 14 日 (火曜日) 開催



2008 年 4 月、京都大学と京都市は、京都大学野生動物研究センターと京都市動物園をそれぞれの中核として、京都市動物園における野生動物保全に関する教育および研究の連携を図るため、協定を締結しました。1 年後の 2009 年 4 月、連携のシンボルとして、京都市動物園の新「類人猿舎」が公開されました。京大の教員として動物園に常駐するようになって 1 年たちました。この間の研究や教育の取り組みについてお話ししたいと思います。

第 51 回 京大サロントーク -平成 21 年 6 月 9 日 (火曜日) 開催



私たちが直面している石油枯渇に伴う将来のエネルギー危機を回避し、CO2 削減に有効かつ環境問題を解決する手段としての宇宙太陽発電所、そして、生存圏を太陽系文明へと広げる事の重要性について語ります。



第 50 回 京大サロントーク -平成 21 年 5 月 12 日 (火曜日) 開催



原子核の世界の探検  
- ミクロな世界へGo! -  
Speaker: 基礎物理学研究所 延與 佳子 准教授



原子核は、原子の 1 万分の 1 という大きさの非常に小さな粒ですが、そんな超ミクロな世界を探求しているのが原子核研究者です。

原子核に見られる不思議な現象や、研究者たちが原子核の世界をどうやって調べているかなどを話しながら、我々の日常に関連する原子核の現象なども紹介します。